

# エコアクション21 環境経営レポート

対象期間：2021年度(2021年5月1日～2022年4月30日)

株式会社 石井組  
令和4年5月9日

## 目 次

1. 事業所の概要 .....	3
(取組の対象組織・活動の明確化)	
2. 環境経営方針 .....	4
3. 環境目標と実績 .....	5
4. 環境活動計画 .....	6
取組内容とその結果 .....	7～10
次年度の環境活動計画 .....	11
5. 実施体制 .....	12
6. 環境関連法規への違反・訴訟の有無 .....	13
7. 代表者による全体の評価と見直し .....	13

# 1. 事業所の概要

## (1) 事業所名及び代表者名

株式会社 石井組

代表取締役 石井 孝典

## (2) 法人設立年月日・資本金

設立年月日 平成 2年 5月 8日 資本金 1,000万円

## (3) 所在地

本社: 徳島県徳島市一宮町西丁1020番地

倉庫: 徳島県徳島市一宮町西丁 490番地

## (4) 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者: 石井 孝典 担当者: 乾 清和

連絡先: TEL(088)635-1260 FAX(088)644-0576

<https://ishiigumi.info/>

## (5) 事業活動の内容

土木工事業、とび、土工工事業

許可番号 徳島県知事許可(般-03)第3360号

許可の年月日 令和3年 6月 8日

許可の有効年月日 令和8年 6月 7日

建設業の種類

土木工事業 とび・土工工事業

## (6) 産業廃棄物収集運搬業関係 \*産業廃棄物収集運搬業は自社工事に係るもののみ

許可番号 3600122192

許可の年月日 令和2年 1月 19日

許可の有効年月日 令和7年 10月 12日

取り扱う産業廃棄物の種類

廃プラスチック類、紙くず、木くず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類

運搬車両の種類と台数

4tダンプ・2台 3tダンプ・1台 2tダンプ・1台 軽トラック・1台 ユニック車・1台

計6台

## (7) 事業規模

項目	2016年	2020年	2021年	
売上高(万円)	12,600	5,490	12,000	※4月決算のため直近は概算
従業員数	7(12)	3(8)	3(8)	( )内は役員を含む
床面積(m <sup>2</sup> )	112	112	112	

## (8) 認証・登録範囲

全組織・全活動・全社員を対象とする

## 2. 環境経営方針

# 環境経営方針

### 基本理念

株式会社石井組は、公共工事・一般土木工事業業務において、  
当社の環境方針並びに関係法令に基づき、地球環境に優しい企業経営を目指します。

### 行動指針

当社は事業活動とその製品が与える環境負荷を低減するために、次の方針に基づき、  
経営活動を推進して地球環境との調和を目指します。

1. 私たちは、次のことについて重点的に取り組みます。

- ① 二酸化炭素排出量の削減
- ② 廃棄物の削減・再利用の促進
- ③ 水資源使用量の削減
- ④ 化学物質使用量の削減
- ⑤ グリーン購入・グリーン調達の実施
- ⑥ 環境に配慮した製品・サービスの提供、施工推進
- ⑦ 会社周辺の清掃等、社会貢献

これらについて環境目標、環境活動計画を定め、定期的に見直しを行い、  
継続的改善に努めます。

2. 私たちは、環境に関連して適用される法令、及び、その他の  
同意する要求事項を遵守します。

この環境方針を全ての従業員に周知します。

制定日 平成22年 11月 1日  
改定日 令和2年 9月 30日  
株式会社 石井組  
代表取締役 石井孝典

### 3. 環境目標と実績

6-01

#### □中長期環境目標

項 目	2016年	2020年	2021年	2022年	2023年
	基準数値	目 標	目 標	目 標	目 標
		-1%	-2%	-3%	-4%
二酸化炭素排出量 (kg-CO2/年)	66805.77	66137.7123	65469.6546	64801.5969	64133.54
電気使用量 (MJ/年)	112347.07	111223.5993	110100.1286	108976.6579	107853.1872
燃 料 (MJ/年)	919372.43	910178.7057	900984.9814	891791.2571	882597.5328
一般廃棄物(トン/年)	1.42	1.4058	1.3916	1.3774	1.3632
廃棄物リサイクル率(%/年)	97	案件に応じて	案件に応じて	案件に応じて	案件に応じて
水資源(トン/年)	74	電力換算に変更	電力換算	電力換算	電力換算
グリーン購入の推進(購買数/年)	22	23	24	25	26
地元地域周辺の清掃活動(回/年)	4	4	4	4	4
環境に配慮した製品・サービスの提供並びに施工の推進(%/年)	100	100	100	100	100
車両の燃費(L/km)	6.8	8	8	8	8
低公害車両の比率(%)	100	100	100	100	100

・各年度の削減目標値は2016年度を基準として毎年1%ずつ削減する。

#### □環境目標と環境負荷の実績結果 (2021年5月1日～2022年4月30日)

令和4年5月6日

項 目	単 位	環境目標(a)	実 績(b)	達成度(b/a)	達成・未達成
①二酸化炭素排出量	kg-CO2/年	65469.6546	46402.29	70.88%	達成
② 電 気 使 用 量	MJ/年	110100.13	41349.6	37.56%	達成
③ 使 用 燃 料	MJ/年	900984.98	594592.704	65.99%	達成
④ 一 般 廃 棄 物	t	1.3916	0.252	18.11%	達成
⑤ 産 業 廃 棄 物	マニフェスト等での 適正処理・再資源化 %	案件に応じて	100% 指定処理	100.00%	達成
⑥ 水 資 源	t/年	地下水汲上げ で電力換算	使用に大きな 変化なし		—
⑦ グリーン購入の推進	再生資材の調達 環境配慮事務用品の購入 購買回数	24	30	125.00%	達成
⑧ 地元地域周辺の清掃活動	回/年	4	5	125.00%	達成
⑨ 環境に配慮した製品・サービスの提供並びに施工の推進	%/年	100	100	100.00%	達成
⑩ 車両の燃費	L/km	8	8.45	105.63%	達成
⑪ 低公害車両の比率	%	100	100	100.00%	達成

#### □環境目標と環境負荷の実績結果に対する評価

・いずれの項目においても達成となった。売上高的には2016年時に近いものがあるが、エネルギー使用量は抑えられており、経営的にも良い傾向である。

売上1000万円あたり 2016年＝5302.04kg-CO2 2021年＝3866.85kg-CO2

4. 環境活動計画

環境活動計画の取組結果とその評価

令和4年5月6日

(1) 令和3年度 環境活動実施計画書・評価

達成状況: ◎十分にきている ○ほぼきている  
△まだ不十分である ×できていない

重要テーマ	具体的項目	担当者名	実施スケジュール												達成状況				
			5月	6月	7月	令和3年			令和4年				1Q	2Q	3Q	4Q			
環境活動計画 炭酸ガス排出量削減 (電気使用量の削減)	冷房を下限28℃、暖房を上限20℃に設定する	石井 孝典	→												○	○	○	○	
	照明機器、エアコン、窓の掃除をこまめにする		→												○	○	○	○	
	使わない機器のコンセントを抜いておく		→												○	○	○	○	
	残業時間を減少する		→												○	○	△	△	
炭酸ガス排出量削減 (燃料使用の削減)	休憩時間は工場及び事務所の消灯を実施する	石井 大造	→												○	○	○	○	
	全車両・建設機械のアイドリングストップの徹底を行う		→												○	○	○	○	
浄水使用量の削減	必要のない荷物の積載排除	島川 龍弥	→												△	△	△	△	
	こまめに蛇口を閉める		→												○	○	○	○	
	廃棄物排出量の削減		廃棄物のリサイクル率向上	→												◎	◎	◎	◎
			マイ箸・マイカップ・マイ水筒運動の推進	→												○	○	○	○
事務用紙のミスコピーを減らし、両面コピーの推進		→												○	○	△	△		
グリーン購入の推進	書類の電子化の推進	乾 清和	→												○	○	○	○	
	節電グッズを進んで購入		→												○	○	○	○	
環境に配慮した製品・サービスの提供並びに施工の推進	エコマーク商品を進んで購入	石井 紀美恵	→												○	○	○	○	
	低騒音型重機の使用		→												◎	◎	◎	◎	
車両のエコドライブを実施し省エネと排気ガスの抑制	工事着工前、近隣住宅への事前説明の徹底	石井 大造	→												◎	◎	◎	◎	
	生物多様性の保護にも配慮した施工		→												○	○	○	○	
	作業時間や待機時間、走行距離の短縮化を図る		→												○	○	△	△	
その他	エコドライブ等運転方法の配慮(急発進、急加速や空ぶかしの排除)を励行	石井 大造	→												○	○	○	○	
	社内の5S活動を推進する		→												○	○	△	△	
その他	会社周辺の清掃美化活動を推進する	全社員	→												○	○	○	○	
	環境保全勉強会の実施		→												○	○	○	○	

取組内容

- ・昨年度からの環境目標項目を再度重点的に取り組む。
- ・各時季ごとの達成状況採点を○以上になるよう努力する。

## (2)取組内容とその結果

### ①二酸化炭素排出量

項目	年度	2016年度	2021年度	2021年度	削減率
	基準年度	基準年度	目標	実績	
温室効果ガス 排出量		66805.77kg-CO2	65469.6546kg-CO2 (-2%)	46402.29kg-CO2	29.12%減

#### 具体的な取組内容と評価理由

##### 【取組内容】

- ・エコドライブの実践、走行距離の短縮化
- ・作業重機のアイドリングストップ励行

##### 【評価】

売り上げ規模的に2016年度と近い規模になったが、排出量は大きく減っている。低燃費車両・重機の恩恵ならびに、移動距離の少ない地元案件で大きな仕事を取れたことが寄与していると思われる。

### ②電気使用量

項目	年度	2016年度	2021年度	2021年度	削減率
	基準年度	基準年度	目標	実績	
電力使用量		112347.07MJ	110100.13MJ (-2%)	41349.6MJ	62.44%減

#### 具体的な取組内容と評価理由

##### 【取組内容】

- ・事務所不在時及び休憩時の消灯
- ・冷暖房の目標設定温度を決めた。

##### 【評価】

引き続き大幅な削減とはなっているが、消費電力の大きい製材作業をかつてより縮小しているのが主な原因と思われる。この数字に満足せず、できる節電をもっと進めるべきである。

### ③使用燃料

項目	年度	2016年度	2021年度	2021年度	削減率
	基準年度	基準年度	目標	実績	
使用燃料		919372.43MJ	900984.98MJ (-2%)	594592.704MJ	34.01%減

#### 具体的な取組内容と評価理由

- ・必要のない荷物の積載排除。
- ・全車両・全重機アイドリングストップ。

##### 【評価】

二酸化炭素排出量のところでも述べたが、地元案件で移動自体が少なかったのが寄与していると思われる。車両の更新も予定しており、燃費はさらに良くし、引き続き改善していきたい。

④一般廃棄物

項目	年度	2016年度	2021年度	2021年度	削減率
	基準年度	基準年度	目標	実績	
一般廃棄物		1.42t	1.3916t (-2%)	0.252t	81.89%減

⑤産業廃棄物

項目	年度	2016年度	2021年度	2021年度	削減率
	基準年度	基準年度	目標	実績	
産業廃棄物		97%	案件に応じて 適正処理	案件に応じて 適正処理	—

令和3年度 産業廃棄物再資源化率

産業廃棄物最終処分		産業廃棄物再資源化率
該当なし	0t	$328.02/328.02 \times 100$  <b>100.00%</b>
産業廃棄物再生利用		
コンクリート・As殻類	325.67t	
木くず	1.18t	
廃プラスチック 他	0.89t	
建設混合廃棄物	0.28t	

具体的な取組内容と評価理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>・裏紙等を利用し、事務所からの紙ごみ廃棄を減らす</li> <li>・FAX・郵送よりもメールなどでのやり取りを多用する</li> <li>・資材置場に産業廃棄物の仮置きをできるだけ避け、原則現場から処分場へ直接搬送とした。</li> </ul> <p>【評価】</p> <p>前年同様、公共事業の元請、またはその下請の業務が多く、マニフェストなどを通じて全量適正に排出、また搬入先でも再資源化されていることを確認した。 また処分場も発注者と協議し、より現場に近い処分場とし、燃料消費も削減した。</p>

⑥水の使用量

項目	年度	2016年度	2021年度	2021年度	削減率
	基準年度	基準年度	目標	実績	
上水使用量		100t	電力換算	使用に大きな 変化なし	—

具体的な取組内容と評価理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地下水のみの使用となっており、ポンプの電力換算にての評価とする。</li> <li>・河川や水路など現場で水が採取できる場合はなるべく現地採取し、電気を使わないよう心がけた。</li> </ul>



⑦グリーン購入の推進

項目	年度	2016年度	2021年度	2021年度	結果
	基準年度	基準年度	目標	実績	
グリーン購入回数		22回	24回	30回	達成

具体的な取組内容と評価理由					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコマーク商品、リサイクル商品を進んで購入。</li> </ul>					
<b>【評価】</b> 公共工事(元請)ではとにかく書類が多い。グリーン購入の回数は増えたが紙の使用量としては増えている(廃棄はされないが)。メールなどの電子申請などで代替できる書類はなるべく変更を心がける。					

⑧地元地域周辺の清掃活動

項目	年度	2016年度	2021年度	2021年度	結果
	基準年度	基準年度	目標	実績	
清掃活動		4回	4回	5回	達成

具体的な取組内容と評価理由					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・一宮城址の清掃ボランティア参加</li> <li>・OURロードアドプトの実行</li> </ul>					
<b>【評価】</b> 引き続き上記2種類の清掃を実施している。今年は忙しすぎて各現場での清掃ボランティアはできなかったの、次年度は実施したい。					

⑨環境に配慮した製品・サービスの提供並びに施工の推進

項目	年度	2016年度	2021年度	2021年度	結果
	基準年度	基準年度	目標	実績	
環境配慮		-	100%	100%	達成

具体的な取組内容と評価理由					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・着工前の近隣施設への工事説明</li> <li>・低騒音型の重機の使用</li> <li>・解体を伴う工事での防音養生</li> </ul>					
<b>【評価】</b> 騒音など環境に対する苦情等はなかったが、一部現場が予定より長い期間交通規制が必要になった。近隣住民の利便性もより考慮していきたい。					

⑩車両の燃費

項目	年度	2016年度	2021年度	2021年度	結果
		基準年度	目標	実績	
車両燃費		6.8	8.0	8.45	達成

具体的な取組内容と評価理由					
・必要のない荷物の積載排除、アイドリングストップの徹底					
【評価】 次年度、車両の入れ替えを予定しており、燃費はさらに向上予定。 より効果を高めるため、タイヤ空気圧チェックなども励行したい。					

⑪低公害車両の比率

項目	年度	2016年度	2021年度	2021年度	結果
		基準年度	目標	実績	
比率		100%	100%	100%	達成

具体的な取組内容と評価理由					
全車両が低燃費型の車両となっている。					
【評価】 軽トラ類を更新予定だが、それも低燃費型を採用予定である。					

# 環境活動計画

## 次年度(令和4年度)の主な取組内容

達成状況:◎十分できている ○ほぼできている  
△まだ不十分である ×できていない

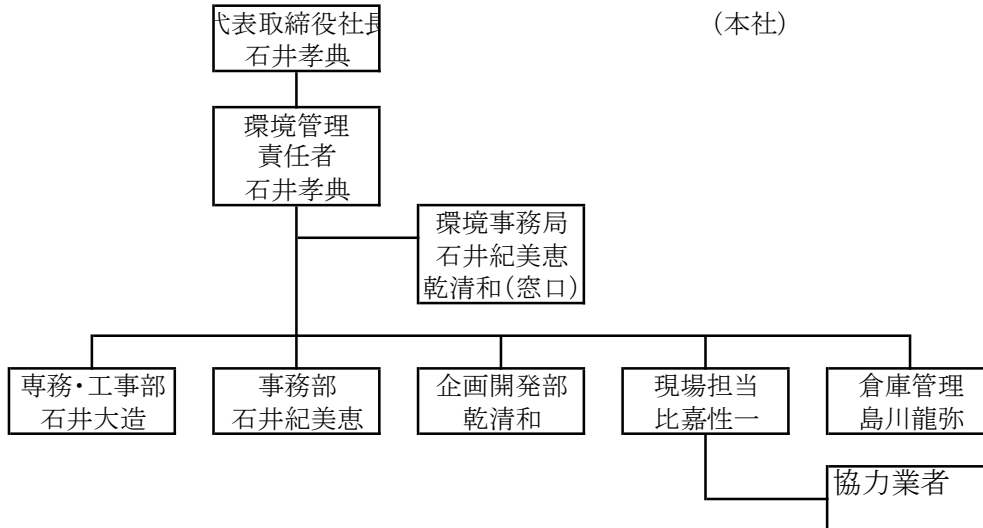
重要テーマ	具体的項目	担当者名	実施スケジュール												達成状況			
			5月	6月	7月	令和4年			10月	11月	12月	令和5年			1Q	2Q	3Q	4Q
環境活動計画 炭酸ガス排出量削減 (電気使用量の削減)	冷房を下限28℃、暖房を上限20℃に設定する	石井 孝典	→															
	照明機器、エアコン、窓の掃除をこまめにする		→															
	使わない機器のコンセントを抜いておく		→															
	残業時間を減少する 休憩時間は工場及び事務所の消灯を実施する		→															
炭酸ガス排出量削減 (燃料使用の削減)	全車両・建設機械のアイドリングストップの徹底を行う 必要のない荷物の積載排除	石井 大造	→															
浄水使用量の削減	こまめに蛇口を閉める	島川 龍弥	→															
廃棄物排出量の削減	廃棄物のリサイクル率向上	乾 清和	→															
	マイ箸・マイカップ・マイ水筒運動の推進		→															
	事務用紙のミスコピーを減らし、両面コピーの推進		→															
	書類の電子化の推進		→															
グリーン購入の推進	節電グッズを進んで購入 エコマーク商品を進んで購入	石井 紀美恵	→															
環境に配慮した製品・サービスの提供並びに施工の推進	低騒音型重機の使用	石井 大造	→															
	工事着工前、近隣住宅への事前説明の徹底		→															
	生物多様性の保護にも配慮した施工		→															
車両のエコドライブを実施し省エネと排気ガスの抑制	作業時間や待機時間、走行距離の短縮化を区 エコドライブ等運転方法の配慮(急発進、急加速 や空ぶかしの排除)を励行	比嘉 性一	→															
その他	社内の5S活動を推進する 会社周辺の清掃美化活動を推進する 環境保全勉強会の実施	全社員	→															

## 取組内容

- ・昨年度からの環境目標項目を再度重点的に取り組む。
- ・各時季ごとの達成状況採点を○以上になるよう努力する。
- ・車両の更新を予定するが、低燃費型を選定する。

5. 実施体制

**実施体制図及び役割・責任・権限表**



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>環境目標、環境活動計画を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>環境活動レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>環境目標、環境活動計画を確認</li> <li>環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境活動レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐、EA21の事務局</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>環境目標、環境活動計画原案の作成</li> <li>環境活動の実績集計</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表の作成</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境経営システムの実施</li> <li>自部門における環境方針の周知</li> <li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>特定された項目の手順書作成及び運用管理</li> <li>自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>試行、訓練を実施、記録の作成</li> <li>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

## 6.環境関連法規への違反・訴訟等の有無

当社の事業活動に適用される法規等

法規等の名称	内容・基準等	遵守状況
環境基本法	環境基準・環境負荷の低減の促進	○
グリーン購入法	できる限り環境物品を選択する	○
地球温暖化対策の促進に関する法律	事業活動及び日常生活に関し、温室効果ガスの排出の抑制のための処置を講ずるよう努める	○
エネルギーの使用の合理化に関する法律	作業員の輸送に係るエネルギーの使用の合理化に資するよう努める	○
環境配慮型事業促進法	事業者は事業活動に係る環境情報の提供に努める	○
資源の有効な利用の促進に関する法律	一般廃棄物の中で、再生可能な品目のリサイクルの促進	○
建設リサイクル法	建設4品目の分別と再資源化	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	収集運搬に関するマニフェストの適正処理	○
騒音規制法	建設現場での機械使用時に適用	○
振動規制法	建設現場での機械使用時に適用	○
大気汚染防止法	自動車排出ガスによる大気汚染の防止を図る	○
土壌汚染対策法	当該土地の形質の変更に着手する14日前までに、都道府県知事に届け出する	○
徳島県・地球温暖化対策推進条例	事業者は地球環境の保全に関する高い意識を持ち温室効果ガス排出の抑制を積極的に進める。	○
徳島県生活環境保全条例	土壌の汚染及び水質の汚染の発生を未然に防止する	○
徳島市環境基本条例	資源の循環的な利用、環境への負荷の低減に努める	○
フロン排出抑制法	フロン類の適正処理、点検など	○

運用期間中における環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありません。

関係機関、地域などからの指摘、訴訟等も過去3年間ありません。

運用期間中における関係機関、地域からの違反、指摘などありません。

## 7.代表者による全体の評価と見直し

再取得後、初めて1年間通しての取組となったが、特に秋冬～年度末の繁忙期は作業効率優先となり、残業増加など環境配慮が甘くなる時期があった。売上の2016年と変わらない規模を半分近い人員で回しているため、仕方ない部分もあるが個々人の意識を高め、より品質も環境対応もレベルを高めていきたい。

幸いにして今年度は好業績であったが、得られた利益からより低燃費な車両へ更新など次年度の環境対策にも還元していきたいと思う。